

## 【22\_194技術系メルマガ】『ガードの堅い』トレードをするために

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

僕はトレードする際、とにかくガードを堅くすることを大事にしている

常にトレード結果は建値の数が、勝ちや負けよりも多くなる傾向にあります。

ちなみに、先月6月の結果は8勝7敗12分(利回り67.8%)でした(笑)

とにかく損を小さく、建値で逃げつつも、勝つところではしっかりリワードを取る。

これを意識するだけで、勝率が5～6割でもしっかりトータルの利益は残るのです。

狙っている利幅も短期デイトレの規模で大きくはないので、ボラの低下にも強いのが特徴です。

とはいえ、この『建値で逃げる』というのも、入り方が悪いと

「逃げる間もなくロスカットになっちゃうじゃないか！」という人も多いでしょう。

そこで今回は、僕がエントリーの際にどんなことに気を付けることで

『建値』以上で終われる確率を高めているのかを説明したいと思います。



■ 勇気を出して、『強い引き』を狙う事でガード力を高める

まず、最近のトレード事例を紹介しますね。(と言っても、先週の水曜ですが。。。)

▼実際の事例(GBPUSD)▼

[https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1544571182355447809?s=20&t=Ex2W1XabVT0UQpU7S8F\\_2g](https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1544571182355447809?s=20&t=Ex2W1XabVT0UQpU7S8F_2g)

このトレードをTwitterで見た人には、3波狙いのトレードには見えなかったと思います。

どちらかという、トレンドに沿って戻り売りを狙っている人の方が多かったのではないのでしょうか。

これは、先日のメルマガでも根拠を説明しましたが、背景は長期足のサポート(月足の1番ライン)が背景にあり

ここでの二番底を形成した事で反発を見込んで「やるならロング」と決めていた場面でした。

あとは、どんなセットアップを待つかが問題となるわけですが

ここで今日の話のメインとなる『強い弓引き』を探します。

おさらいとして、先日のメルマガで解説したこのトレードのセットアップ根拠をもう一度書いておきます。

～～

M15/ MA収縮だが、40-50が進行方向(ここが利確目標、約30pips弱)

M5/ 逆三尊右肩と20SMAの鉤型、M1/ M5足逆三尊右肩をダブルボトムに分解

最後の「分解」が分かりづらかったかもしれないので、補足画像を添付しておきます。

(サロンに共有した画像になります。)

▼GBPUSD M1足▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/chart/2022-07-06.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/chart/2022-07-06.png)

M5足までパターン認識をして置いたうえで、更にM1足の小さな揉み合いまで分解していきます。

この時に生じた、ちょっと強い押しを見つけると、僕は『弓を引いた』と見るわけです。

一見すると、こんなところからエントリーするのは「怖い」と思うかもしれませんが。

でも、逆に考えてみてほしいのですが

自分が「ここまで待てば安心」と思えるポイントでエントリーして、実質トータルで勝てていれば全く問題はなりません。

実際、そこでエントリーして遅すぎた為に建値で逃げるのもままならず

逆行して、ロスカットになる事が多いとしたらどうでしょう。

結果として、「弓引きがあまい＝引き付けが甘い」ために損切り幅を吸収しきれず

目線は合っていたのにロスカットになる、という残念なエントリーが増えてしまうわけです。

自分の主観的な「恐怖」というのは、相場の値動きの結果とは関係ありません。

すべて、自分の考え方・経験から来るものです。

それが勝ち筋を導けない考え方になってしまっていると気付いたら、その時が修正のチャンスです。

ちょっと今回は技術的な話の中でも抽象的で難しい部類に入ってしまうかもしれませんが

色々自分の中で考えながら取り組んでみてくださいね。

疑問があれば、是非メールで質問してください。